

1 主に使用する資料

S481205-016 浦和駅西口前広場
(駅前から)



S420624-017 南浦和駅前



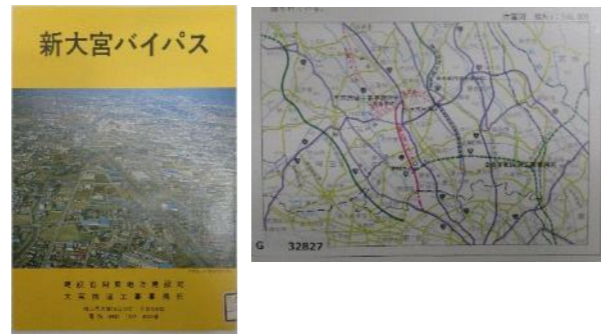
S320723-006 県庁屋上から浦和駅
方面の眺め



G11785 高速埼玉中央道路の御案内



G32827 新大宮バイパス



その他に、「浦和 83 浦和都市計画図」、「浦和 109 浦和都市計画図」などの地図資料を使用。

写真は今から60～70年前の浦和市街の様子です。児童は、現在の浦和駅周辺と比較させて街の様子の変化を自分たちで見つけることができます。

冊子は新大宮バイパス関連のパンフレットです。当時の工事区間、建設の理由などに触れられており、道路が新設される理由を知ることができます。

2 指導例

(1) 本時のねらい

・市や人々の生活の移り変わりに関する本時の学習課題を立て、課題を主体的に追究し、解決することができる。

(2) 展開

学習活動・学習内容	○指導上の留意点	資料等
1 クラス内での交流を通して、前時までの自分の学習を振り返り、本時の課題を見いだす。 ・前時までの学びを振り返ること ・本時の課題を見いだすこと 本時の課題の例 さいたま市の〇〇（人口、交通、まちの様子等）はどのように変わってきたのだろう。	○学習問題の解決に向けた学習が進んでいるかどうか考えさせる。本時の課題を見出すことができるようにする。	S481205-016 浦和駅西口前広場（駅
2 だれと、どのように調べるのかを考え、本時の課題を調べる。 ・誰とどのように調べるのかを考えること	○事前に学芸員にどのような内容を調べているのか伝えておく。	

<ul style="list-style-type: none"> ・本時の課題について調べること 3 調べたことをまとめる。 ・本時の課題に対するまとめを考え表現すること 4 計画的に調べられた児童や学習問題の結論に関連する言葉を使ってまとめられた児童を意図的に指名し、本時で学んだことを共有する。 ・学んだことを共有すること 5 本時の学習の振り返りを行う。 ・学んだことを振り返り、更に調べたいこと、考えたいことを記述したり、まとめの内容を読み返して内容を吟味したりすること 	<ul style="list-style-type: none"> ○学芸員は、尋ねてきた児童に対し、資料をもとに回答したり、解説したりする。 ○学芸員は、適宜教室内を回り、学習の進め方に困っている児童に声をかける。 ○その時間に調べたことを本時の課題に対するまとめとしてどのように表現するかを考えさせる。 ○学芸員は、質問にきた児童の学習状況を、授業者に伝え、クラス内の学習状況を共有する。 	<p>前から）他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・G11785 高速埼玉中央道路の御案内、G32827 新大宮バイパス ・浦和 83 浦和都市計画図 他
--	---	---

3 担当より

- ・本指導例は、小学校学習指導要領社会科3年の内容（4）ア（ア）（イ）・イ（ア）を受けたものです。
- ・埼玉大学教育学部附属小学校（授業者 鈴木一徳教諭）で行った出前授業（令和5年実施）をもとに作成しています。個別最適な学びと協働的な学びの充実を意図しています。何を調べるか、どのように調べを進めていくかを児童自身に考えさせて進める「学習の個性化」と、児童同士や児童と学芸員とやりとりを通じた課題の解決を進める「協働的な学び」を一体的に進める授業内容となっています。
- ・主に2（2）展開の「2 だれと、どのように調べるのかを考え、本時の課題を調べる」において、当館学芸員が個別に質問の回答や解説をして、児童の聞き取り調査の充実と調べ学習の支援を行います。
- ・本指導例では、さいたま市の資料を取り扱いましたが、当館には埼玉県各地の都市計画図や地形図、航空写真等が収蔵されており、他の市町村での出前授業も可能です。資料は、明治時代作成のものから令和年間に作成したものまで幅広い年代のものがあります。また、埼玉県各地の出来事、生活の様子等を撮影した戦後報道写真を昭和22年から昭和52年7月まで公開しています(令和5年12月現在)。
- ・市町村の副読本で区分された年代の資料をお探しの場合や、授業の進め方や学芸員の活用方法にお問い合わせがある場合は、学校等支援担当に御相談ください。